

YAGI REPORT

第108期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

続けよう、未来のために。

繊維の商社として125年続いてきたノウハウやコネクションを活かし

社会のために繊維を通じて何ができるのか。

次の世代のために何ができるのか。

生産者も消費者も、皆が笑顔に満ちた時代を目指す私たちのエンカナル活動。

YAGIにしかできないETHICAL=[YAGIthical / ヤギシカル]。

ファッションのより良い時代を紡ぎ、

100年先の未来をもっと豊かにするために。



会社概要 (2019年9月30日現在)

会社の概要
 社名 株式会社 ヤギ
 英文社名 YAGI & CO.,LTD.
 創業 1893年(明治26年)10月16日
 設立 1918年(大正7年)4月28日
 資本金 1,088,000,000円
 主な事業内容 綿化繊維系、合繊維系、綿化繊維物、合繊維物、ニット生地及び衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入
 主要な事業所 (国内) 大阪本社 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号
 東京本社 東京都中央区日本橋小網町18番15号
 支店 福井(福井市)
 出張所 名古屋(名古屋市)
 営業所 和歌山(和歌山市)
 (海外) 駐在員事務所 上海(中国)
 ホーチミン(ベトナム)
 ハノイ(ベトナム)
 ダッカ(バングラデシュ)

株式の情報 (2019年9月30日現在)

● 発行可能株式総数	45,568,000株	
● 発行済株式の総数	10,568,000株	
● 株主数	1,387名	
● 大株主(上位10名)		
株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	882(千株)	10.65 (%)
ビービーエイチ フィデリティ ビューリタン フィデリティ シリーズ インタリニク オポチュニティズ ファンド	450	5.43
株式会社みずほ銀行	410	4.96
ゴールドマンサックスインターナショナル	406	4.91
株式会社三井住友銀行	380	4.59
株式会社三菱UFJ銀行	305	3.68
ヤギ従業員持株会	276	3.34
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカ운 トジェイピーアールディ アイエスジー エフイーエイシー	251	3.04
第一生命保険株式会社	250	3.02
クロスプラス株式会社	229	2.77

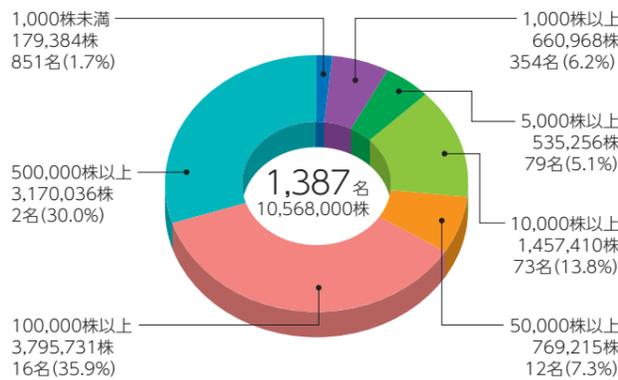
(注) 持株比率は自己株式(2,288,036株)を控除して計算しております。

役員一覧 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	八木隆夫
常務取締役	山岡一朗
取締役 長	戸隆之
取締役	馬渡武継
取締役	岡本富雄
取締役	杉岡弘康
取締役	濱田哲也
取締役(常勤監査等委員)	三浦明石
取締役(監査等委員)	池田佳史
取締役(監査等委員)	塩田修弘
取締役(監査等委員)	熊谷弘

(注) 取締役池田佳史、塩田修弘及び熊谷弘は、社外取締役であります。

● 所有株数別分布状況



(注) 本中間報告書中の記載金額及び株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年
 定時株主総会の基準日 3月31日
 剰余金の配当の基準日 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告の方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
 ホームページ <https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html>

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶ 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちヤギグループはこのたび、厳しい経営環境下でも収益力を維持し、持続的な成長を実現するための経営指針として、2020年3月期を最終年度とする3カ年の当社グループ中期経営計画「SPARKS 2020」(スパークス2020)を策定し、繊維・ファッション関連事業を展開しております。

持続的な成長には、圧倒的な市場シェア(占有率)を持つ商権の獲得による差別化事業の確立が急務となる中で、「総合力発揮の強化」「新領域への挑戦」「構造改革の実行」の3点を重点方針とし、「新しい商社像」を示せるリーディングカンパニーとなるべく挑戦し続ける意思を明確化しました。グループ間の相乗(シナジー)効果を最大化することにより、株主や投資家の皆様をはじめとする全てのステークホルダーに価値を創出できる企業体でありたいと考えています。

さて、第108期(2020年3月期)第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、衣料品販売の低迷が続く中で、差別化商材の開発など収益力強化に注力した結果、前年同期比で増収を確保しましたが、販売管理費の増加により減益となりました。

今後におきましても、当社が1893年(明治26年)の創業以来

築き上げてきた、信用と実績をさらに高めていくために、経営の効率性向上を目指し、いかなる環境下でも適正な利潤を上げられるビジネスモデルを構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2019年11月 代表取締役社長 八木隆夫

配当について

配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていくことを基本方針としております。

また、これまで年1回の期末配当を基本としておりましたが、株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、中間配当と期末配当の年2回実施する方針へ変更いたします。

当方針に基づき、当中間配当金は1株につき24円とさせていただきます。

また、当期末配当金は1株につき24円を予定しております。

▶ 第2四半期財務ハイライト(連結)



株式会社 ヤギ

〒540-8660 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号
<https://www.yaginet.co.jp>

▶ 分野別の概況

原料分野

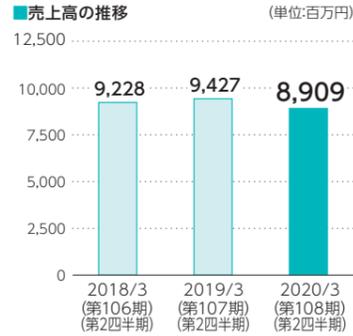


14.8%

原料分野は、天然繊維原料は、依然として続く各産地の低調な商況が影響し、主力事業の綿糸販売は非常に苦戦を強いられました。合成繊維原料は、加工糸や備蓄糸の販売は好調に推移したものの、高付加価値原料では急な需要の高まりに生産、供給体制が追いつかない状況が見られました。

このような状況の下、当社グループは、テキスタイル分野との連携による相乗効果の創出を推進し、優良取引先との取り組み深耕や、生産集約による加工効率向上により、経費削減による収益基盤の構築に努めるとともに、売上の維持・拡大を図りました。

この結果、原料分野の売上高は8,909百万円(前年同期比5.5%減)となりました。



テキスタイル分野

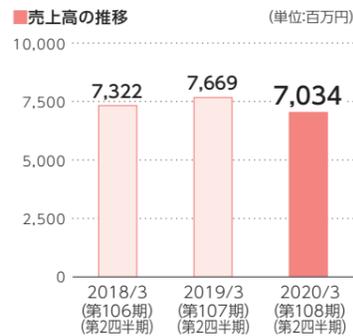


11.7%

テキスタイル分野は、ニッターや染工場の人手不足により生産キャパシティの不足が益々深刻化してきております。このため生産日程が余計にかかり、早期発注を余儀なくされ在庫が増大することになり、非常に厳しい環境下で苦戦を強いられております。また依然として運賃、工賃や倉敷料の増加が収益を圧迫している状況です。

このような状況の下、当社グループは、販売戦略の要である「テキスタイル・プロジェクト」において、素材企画力を活かした売れ筋商材開発やグループ会社との合同展示会開催による販売強化に努めました。また営業組織の変更に伴う原料分野との協業強化を意識しながら、戦略商材の開発に注力いたしました。

この結果、テキスタイル分野の売上高は7,034百万円(前年同期比8.3%減)となりました。



繊維二次製品分野

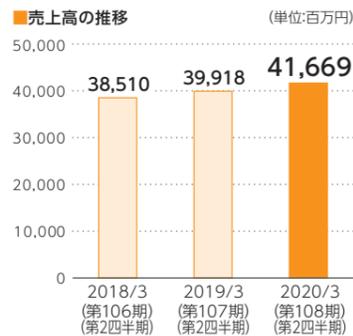


69.4%

繊維二次製品分野は、特にトレンドに左右される商材は、6～7月の天候不順だけでなく8月以降の猛暑も加わり夏物・秋物ともに店頭での売れ行きが不調でした。一方で実用衣料となるインナー・子供服や、付加価値性の高い商材は好調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、企画段階から請け負った製造・供給するODM生産を推進する一方、原料・テキスタイル分野との協業やブランドビジネスの発想を取り入れた新規オリジナル商材の開発を加速し、市場での競争力強化に努めました。

この結果、繊維二次製品分野の売上高は41,669百万円(前年同期比4.4%増)となりました。



(※売上高構成比はこの他に、繊維事業その他3.7%、不動産事業0.4%があります。)

▶ 連結財務データ

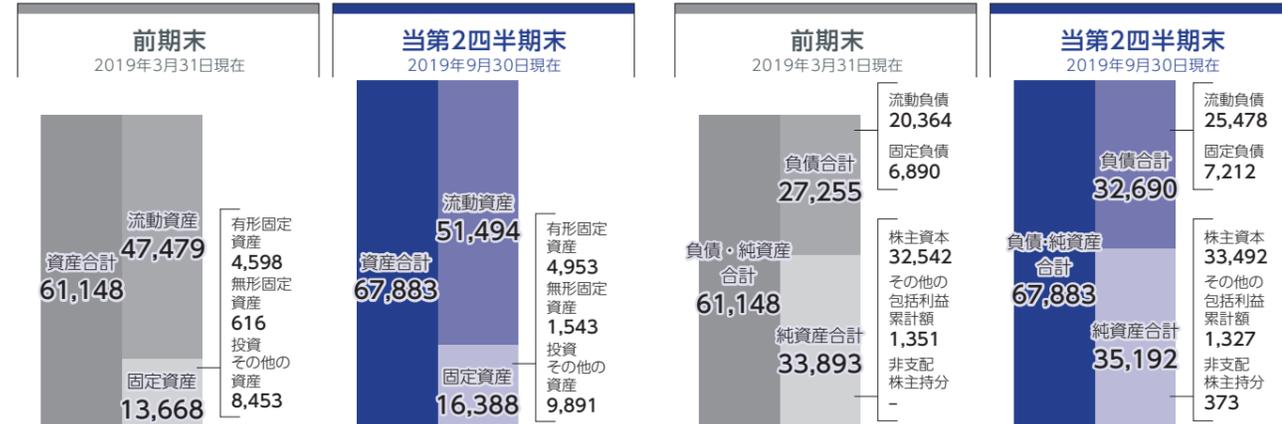
詳しくは当社ホームページをご覧ください

ヤギIR

検索

● 四半期連結貸借対照表

資産の部 (単位:百万円)



▶ TOPICS

よりよい未来の社会へ、事業を通じたサステナビリティへの取り組みを推進

当社グループは、持続可能な社会の発展を目指したエシカルへの取り組みを総称して「YAGIthical(ヤギシカル)」と名付け、これまで以上に人や社会、環境に配慮した取り組みを行っています。



当社独自のエシカルテキスタイルブランド「FORETHICA(フォレシカ)」を立ち上げ

持続可能な社会の実現に一步でも近づくために、普段の生活の中で自然な形で持続可能な社会づくりに貢献したいと考える消費者に向けて、FORETHICA シリーズのテキスタイルブランドを立ち上げました。その第一弾として、レンチング社のレーヨン短繊維「LENZING™ ECOVERO™(レンチング™エコペロ™)」とオーガニックコットンの複合素材を、2020年春夏向けを皮切りに提案しました。同社のLENZING™ ECOVERO™は、木材資源を有効活用した環境対応型の繊維で、欧州連合(EU)のエコラベル認証を取得しています。



一般財団法人 PBP COTTON と、「オーガニックコットンから始まる、ともに描く未来」をテーマに共同展示会を開催

5月21日～24日 東京都渋谷区の当社ショールーム「BUTSU/」で、インドの綿農家を支援する一般財団法人 PEACE BY PEACE COTTONと共同で、「モノ、人、気持ち、時間をつなげる」をコンセプトとした展示会「White&Unite(ホワイト&ユナイト)」を開催しました。当社は、同財団が取り組むインドオーガニックコットン製品を基金付きで販売し、積み立てた基金を使ってインドの綿農家を支援する循環システムに参画しています。



事業投資を加速し、従来の繊維関連にとどまらない新領域の取り組みを強化

泉州タオル最大手のツバメタオル株式会社をグループ会社化



クリスタルソフトタオル(スーピマ精紡交換)

2019年7月、泉州タオル最大手のツバメタオル株式会社をグループ会社化しました。オーガニックコットンの消費量は日本一を誇ります。ツバメタオルの国内最高水準のエコロジータオル生産技術・サプライチェーンと、当社の企画・販売力とを掛け合わせるにより、エシカルライフスタイル事業領域の競争力を強化してまいります。



本社外観

株式会社グレイスの株式追加取得による持分法適用関連会社化

2019年6月、キャラクターを中心としたライセンス商品の企画・製造・販売を手掛ける当社関連会社のグレイスを持分法適用関連会社化しました。より関係性を深め当社グループの更なる企業価値向上につなげてまいります。

衣服生産プラットフォーム事業を展開するシタテル株式会社と資本業務提携

2019年6月、衣服生産プラットフォームの先進的なテクノロジーに強みを持つシタテル株式会社と資本業務提携しました。その第一弾として、海外アパレルブランド向けに、日本に衣服生産をオンラインで受発注できるサービス「YAGI SOURCE ENGINE」を発表しました。今後も、新たなサプライチェーンの構築を相互に加速し、あらゆるニーズに応えるサービス体制を強化してまいります。



● 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

